

病 害 虫 情 報 No . 8

サツマイモのナカジロシタバの発生に注意しましょう!

[現在の発生状況]

8 月下旬現在, ナカジロシタバ幼虫による被害は平年より多い。(表 1)

気象予報によると, 向こう 1 か月の気温は平年並か高いと予想され, 発生に適した条件である。

表 1 ナカジロシタバの発生状況 (8 月下旬調査)

地 域 (調査地点数)	被害葉率 ¹⁾ (%)			発生地点率 (%)		
	本年	平年	順位 ²⁾	本年	平年	順位 ²⁾
県 北 (5)	9.6	5.6	3	60	29	1
鹿 行 (13)	38.7	11.0	2	100	44	1
全 県 (18)	30.1	9.4	2	88	38	1

1) 調査圃場 1 地点あたり 100 葉調査し, 被害が確認された葉の割合。

2) 過去 10 年間における本年値の順位。

[防除対策] (平成 19 年度農業総合センター農業研究所主要成果 (普及・情報) 参照)

8 月下旬 ~ 9 月中旬に圃場での発生の様子をよく観察し, 若齢 ~ 中齢の時期 (丸く穴の開いた葉が散見される時期 ~ 葉面積の 25% 程度を食害された葉が目立つ時期) に, 早めに薬剤散布を行う。その際, 幼虫が生息する葉裏まで薬剤がかかるよう丁寧に散布する。

薬剤に対する抵抗性は現在のところ認められていないので, 表 2 に示す薬剤を適期に散布することで, 十分な効果が得られる。なお, IGR 剤 (ノーモルト乳剤, マッチ乳剤) は, 他系統薬剤に比べ殺虫効果の発現に時間がかかるので, 早めに散布する。

表 2 サツマイモのナカジロシタバに登録のある主な農薬 (平成 20 年 8 月 6 日現在)

薬 剤 名	希 釈 倍 数	収穫前日数 - 剤の使用回数	有効成分名 - 有効成分の総使用回数
オリオン水和剤40	1,000倍	前 日 - 5 回	アラニカルブ - 5 回
ディブテレックス乳剤	700 ~ 1,000倍	1 4 日 - 4 回	D E P - 4 回
トルネードフロアブル	2,000倍	7 日 - 2 回	インドキサカルブMP - 2 回
トレボン乳剤	1,000倍	7 日 - 3 回	エトフェンプロックス - 3 回
ノーモルト乳剤	1,000倍	7 日 - 2 回	テフルベンズロン - 2 回
マッチ乳剤	2,000 ~ 3,000倍	1 4 日 - 2 回	ルフェヌロン - 2 回
ラービフロアブル	750 ~ 1,000倍	3 日 - 3 回	チオジカルブ - 3 回

農薬を使用する際は, 農薬ラベルに記載の使用方法, 注意事項等を確認のうえ使用してください。また, 周辺作物等へ飛散 (ドリフト) しないよう十分注意して散布してください。